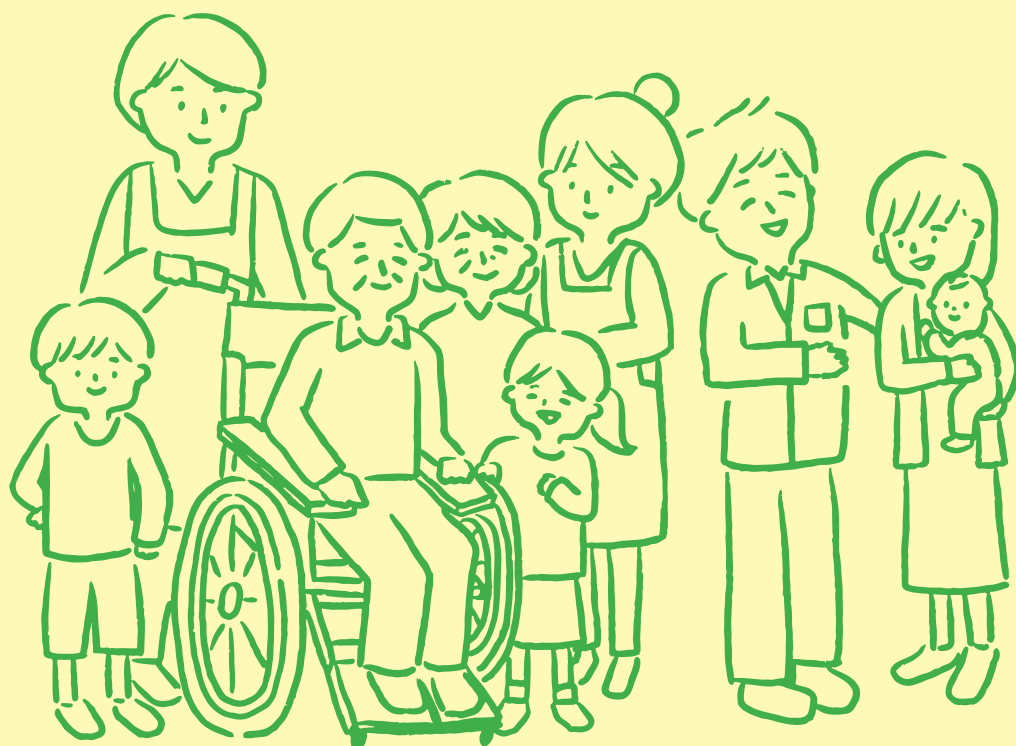
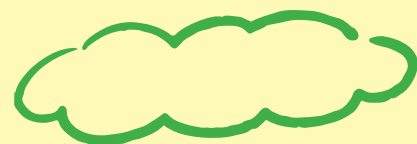


第2編

基本構想

第1章 雲仙市の将来像

第2章 雲仙市の基本方針





第1章 雲仙市の将来像

“つながり”で創る

第2次雲仙市総合計画のまちづくりのキーワードは、“つながり”です。次の3つの“つながり”を育みながらまちづくりを進めます。

①自然との“つながり”

国立公園やジオパークに認定された豊かな自然環境を、市民共有のかけがえのない財産として守り、育てながら、自然環境と「人」、「地域」、「産業」との“つながり”を深め、それにより持続可能な活力を生み出すまちづくりを進めます。

②人との“つながり”

人口減少や高齢化などの社会環境の変化に柔軟に対応しつつ、誰もが安心できる地域社会を構築するために、人と人との“つながり”(=「絆」)を育み、生かすまちづくりを進めます。

市民の心と心をつなぐ
まちづくりの合言葉



「自然」「人」「地域や近隣」との“つながり”

第2章 雲仙市の基本方針

雲仙市の将来像を実現化させるための基本方針について、以下の5本の柱を設定します。

基本方針1 暮らしと安心

安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり

婚活支援と、切れ目ない出産・子育て支援を行うとともに、人口減少に歯止めをかけるため移住・定住対策に取り組めます。また、年齢を問わず自ら主体的に健康づくりに取り組む環境を整備するとともに、高齢者福祉、障害者福祉を充実させ、誰もが活躍できるまちづくりを目指します。更に、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりを行います。

基本方針2 産業と交流

雇用を生み出す産業づくりと人を呼び込む観光地域づくり

本市の基幹産業である農林水産業の生産基盤の強化や後継者対策等を強化し、国内外の競争に負けない力強い産業として育成します。また、商工業をはじめとする地場産業の振興と企業誘致を両輪とした雇用促進に努めるとともに、新産業育成による雇用創出を進めます。

更に、本市の財産である「自然」・「温泉」・「食」など地域固有の資源を活用した観光地域づくりを進め、国内外からの交流人口の拡大を図ります。

基本方針5

協働と戦略

市民一人ひとりが主役の協働のまちづくりと効率的で戦略性をもった行財政運営

と豊かさを実感できるまち

③市民や地域、近隣との“つながり”

まちづくり実現の推進力として、近隣自治体と連携しながら、市民や地域、民間企業等が持つ力を最大限に発揮できる環境をつくり、その力を“つなぎあわせ”、相乗効果を高めていきます。

賑わいと豊かさを実感する

本市が持続的な発展を遂げていくためには、産業の活性化や交流人口の拡大などによる経済の活性化が不可欠です。これにより雇用を生み出し、人口流出に歯止めをかけることで地域全体に活力がみなぎるなど“賑わい”の好循環を生み出します。

また、地域のコミュニティを育みながら、結婚から出産、子育ての支援はもとより、介護や福祉のまちづくりを進化させることで、市民一人ひとりが“雲仙市に住んで良かった”と思えるような“豊かさ”を実感できるまちづくりを目指します。

◎市民の「ほっと」…………… →安心の暮らしで“ほっと”

◎来訪者の「ほっと」…………… →温泉や人の温かさにふれて“ほっと”

◎まちづくり活動の「ほっと」…………… →市民主体のまちづくりが熱く展開(HOT)

基本方針3

社会基盤と環境

社会基盤の整備と 自然環境と調和したまちづくり

道路ネットワークや公共交通、上下水道、情報基盤など、暮らしや経済活動の基礎となる社会基盤の計画的な整備と維持管理、長寿命化により、快適な生活環境を創出します。また、本市の財産である自然環境の保全を図るとともに、地域資源を生かした再生可能エネルギーによる、資源循環型社会を育成し、暮らしや産業などの幅広い分野への活用を進めます。

基本方針4

人財と郷土

将来を担う人財づくりと 歴史と文化が輝く郷土づくり

次世代を担う子どもたちの「生きる力」を育成するために、確かな学力、豊かな心を育む学校教育を推進します。また、市民の主体的な生きがいつくりや健康づくりに繋がる生涯学習・生涯スポーツの環境づくりを進めます。更に、郷土の誇りである文化・芸術の振興と歴史の継承を図るとともに、地域活動へつなげるなど、特色のある地域づくりを行います。

「市民協働」をまちづくりの基本に、地域コミュニティの強化に努めるとともに、政策決定段階や実行段階の様々な場面に対し、市民の多様な参画の場を確保します。また、大学連携や民間活力の活用など、官民が一体となった協働のまちづくりを進めます。

行財政運営については、本計画を基にした集中と選択によるメリハリのある施策展開を基本に、PDCA マネージメントサイクルによる進行管理を行うなど、限られた経営資源を最大限に活用する効率的で戦略性のある行財政運営を行います。